

詩集(タイトル) .. この指とまれ！

内容

詩集(タイトル) .. この指とまれ！	1
《久遠の果て》	4
《もしも》	10
《愛を生きる》	14
《あなた なのです》	15
《信じています》	17
《待ってください》	19

《 お話 》	21
《 あなたに 》	23
《 お祝いしましょ 》	24
《 おねがい 》	26
《 ほほえんでいてね 》	28
《 祈っています 》	31
《 らぶすとーりー 》	33
《 プレゼント 》	36
《 ほほえんで 》	38
《 ダンス 》	40
《 祝福 》	42

《心おだやかに》	43
《ヒトは》	45
《ただ祝福を》	47
《鮮やかなるは》	49
《祈る》	50
《愛おしく》	51
《知っていますか》	53
《誕生》	56
《夢をみました》	58
《愛の祈り》	60
《愛の詩》	62

《愛の言霊》.....64

《平和の祈り》.....65

《久遠の果て》

あらゆることが

あらゆるもののためにあり

あらゆることが

あらゆる想いのためにある

時は風のように流れ

雲のように漂う

今この世は

その時の果てより

自らその光を

見出すことになるのだろうか……

想い出の遠方から

さし輝く光のその明けは

我が魂のささやきのように

この身を暖め

育んでくれる

そのことの初めのために

このことの始まりがあり

我が歩みは

新たかにスシミ見出す

久遠の果てよりの愛が

この世となるために

すべての光が響きあうとき

すべての愛は完結する

その時まで

心をつくし身をつくし限りをつくして

生きてゆくこと

これこそが

我が愛の完結

愛しきテラよ

麗しきテラよ

全宇宙の

愛のテラよ

君と

共に生きよう

君と

共に響きあう宇宙に

すべての愛があることを

祈りとともに確信する

テラよ

宇宙よ

愛しき我が故郷アルよ

今この時

私は人々とともに

テラとともに

全宇宙とともに

愛のために

愛の中で

愛を生きよう

太陽のように暖かく

海原のように深く

風のように軽やかに

愛のために

愛の中で愛を生きよう

自らの光を見出して

内なる宇宙の声をきき

自らが愛の証となるために

未来を信じ

すべてを信じて
すべての生命と
ともに生きよう

ほほえみの中で
生きていこう

宇宙のすべてが
愛と光を放つように
静寂の中で

豊かに生きよう

祈りとともに生きていこう

愛のために愛の中で愛を見つめよう

今からそしてこれから
自らを信じて

永遠の生命を自由な真心で生きていこう

テラとともに

人々とともに

あらゆる生命とともに

愛のために

愛の中で

全宇宙の

愛と光で生きよう

祈りとともに

岡田多母

《もしも…》

この宇宙の一番最初の光があなただったら…

あなたはこの宇宙に何を観るのでしょいか…

もしも…

この宇宙の一番最初の響きがあなただったら…

あなたはこの宇宙にどんな音を響かせるのでしょいか…

もしも…

この宇宙の一番最初の色彩があなただったら…

あなたはこの宇宙をどんな色彩で包むのでしょいか…

もしも…

この宇宙の一番最初の形があなただったら…
あなたはどんな形をこの宇宙に創るのでしょうか…

もしも…

この宇宙の一番最初の味があなただったら…

あなたはこの宇宙にどんな味わいを満たすのでしょうか…

もしも…

この宇宙の一番最初の光響き色彩形味わいが
すべてあなただったら…

あなたはどんな世界をこの宇宙に現すのでしょうか…

あなたはどんな世界をこの宇宙に創造するのでしょうか…

あなただったら…

あなただったら…

あなたが創造する世界は…

あなたが創造したい世界は…

想像して創造して…

みませんか…

そして…

その世界を

生きてみませんか…

あなたから！
あなたが！

《愛を生きる》

心おだやかに ほほえみ
久遠の 果てよりの
愛が この世となるように
太陽のように 温かく
海原のように 深く
風のように 軽やかに
愛のなかで
この愛を生きよう
すべての生命たちと ともに
愛しさのなかで

永遠のこの愛を 生きよう

《あなた なのです》

永遠の静寂からあなたは生まれた
無限の愛によってあなたは生まれた

あなたは神として神の世に生まれた
この宇宙は神の遊び場
無限の愛の花園

あなたは神の愛を遊び楽しみ
永遠の時を自由自在に楽しむ

あなたの愛で宇宙は無限に花を咲かせ

この宇宙は愛の蜜と愛の香りに
満ち溢れている

宇宙の知性たちは

あなたの光によって輝きを増し

あなたのほほえみによって進化する

あなたの祝福は

すべての存在たちを愛に溢れさせ

永遠の時を感受させる

生きとし生けるものたちの弥栄と雅美が

あなたの愛で現れる

この宇宙は

至福に溢れ静寂が満ちている

そのすべての証しは
あなた なのです

《信じています》

小川のせせらぎがかわいらしく心地よく聞こえます

子供たちは小川の中で笑い声をあげて

キヤッキヤツと楽しそうに遊んでいます

子供たちのそばで お父さんとお母さんが嬉しそうに 佇んでいます

木陰で おじいさんとおばあさんがみんなの様子を 眺めています

うつとりと心静かに満足そうに 眺めています

さわやかなやわらかい風が吹き
木々たちが揺れ 花たちがそよぎ
光がキラキラと満ちています

こんなのかな なごやかな風景
いつも いつも 心から願っています
ヒトの優しさ 気高さが満ちる
美しい世を心から祈っています

子供たちが遊びを楽しみ 若人が夢を語り 年老いた者たちが
安らぎを語る

ヒトの世の すばらしさを

いつも いつも 夢みしています

ヒトの生命の 偉大さを

いつも いつも 信じています

《 待つてください 》

あなたに 怒りが訪れたとき

あなたに 憎しみが訪れたとき

あなたに 苦しみが訪れたとき

それはすべて 心が波立っているだけ

あなたが怒り 憎しみ 苦しみ なのではないのです

あなたに 悲しみが訪れたとき

あなたに 憂いが訪れたとき

あなたに 辛さが訪れたとき

それはすべて 愛が揺らいでいるだけ

あなたが 悲しみ 憂い 辛さ などではないのです

あなたが あなたではないあなたを感じたとき

それはすべて あなたの本当が

ウイスパーしているだけ

あなたが 本当のあなたに逢いたいと

ウイスパーしているのです

心が静かに落ち着いて安らいで

愛に満ちるそのときまで

そつと そつと 優しく

ただ 待つてあげてください

あなたがあなたを待つてあげてください

本当のあなたに出逢うまで

《お話》

心が何かを感じました

その瞬間に 頭が心に命令しました

『考えろ』

心は すぐに頭に言いました

『感じろ』

聞いた頭は また心に言いました

『なにー、もっと考えろ』

言われた心は 言い返しました

『なにー、もっと感じろ』

頭は またまた言いました

『もっともっと、考えろ！』

心も またまた言い返しました

『もっともっと、感じろ！』

どんどん二人は言い合いになりました

そして、とうとう言い争いになりました

二人の会話をじいーと聞いていた腹が

突然二人の間に割って入りました

『腹が決める！』

心と頭は争いをやめ、静かになりました

様子をみていた神様は、大笑いをしました

《あなたに》

あなたに生が訪れて至福の時とともに
あなたは誕生する

愛があなたに それを気付かせ

それはあなたの想いとなって現れる

あなたの想いは愛の形となり 神を現わす

あなたは神の現われを知り 神を超え

誕生の全てとなって愛を出逢わせる

出逢った愛たちが溶け合って

ヒトツとなる瞬間に至福が溢れる

生は至福を溢れさせ

あなたは すべての現われをみる

ただ溢れいつる想いが

あるがままにそれそのものとなる楽しみを

あなたは楽しむ

至福が永遠に無限に溢れるのを

ただ静かに楽しむ

あなたは それ

《お祝いしましょ》

人生は 毎日が 祝日
人生は 毎日が 祝祭

人生は 毎日が 祝典

人生は 祝福が 溢れてる

人は ただ 歓び合い 楽しみ合う

人は ただ すべてを 楽しみ 愛する

人生は 愛と祝福と至福

人は ただ 生きて

愛と祝福と至福を現す

人生は 毎日が 祝日

人生は 毎日が 祝祭

人生は 毎日が 祝典

お祝いしましょ

生とは賜物

神からのお祝いなのですから

おめでとう

おめでとう

おめでとう

《おねがい》

遠ざからないで 愛から

閉め出さないで 心を

塗りつぶさないで 思考を

あなたが 望んでいるのは

逃げることでも 避けることでも
固まることでもないはず

あなたが 探しているのは
素直に 無邪気に 自由に
生きていくことでしょう

だからおねがい

誰かのそばにそっという
ただ笑顔を数えてみましょうよ

あなたから ほほえんで

誰かの笑顔をみつめましょう
優しく 言葉をかけましょう

誰かの望むことを

一緒に考えてみましょう

一緒に叶えてみましょうよ

きつと あなたはわかるはず
どこかの誰かがずっと
あなたを 待っていたことを
あなたの愛が 待たれていたことを
そして あなたがあなたと
自由に自然に
生きていたということを

《ほほえんでいてね》

ほんのちよつとだけ
まわりを見てごらん

ほんの少しだけ

ゆつたりと見てごらん

ほんのちよつと

ほんの少し

ゆつたりと見てごらん

何気なくなんとなく

周りを見てごらん

ほら

可笑しなことがいっぱい見つかる

笑っちゃうことがいっぱい見つかる

滑稽なことがいっぱい見つかる

生は笑いに満ちていて
可笑しなことに満ちていて
滑稽なことに満ちている

ほら…ね

だけど

深刻だったら

やたらに

緊張していたら

すべてをとりのがしてしまうよ
だいなしにしてしまうよ…

だからね…

生にくつろいで

静かにゆったりと

あなたがあなたにくつろいでいてね

そして

あなたがあなたにほほえんでいてね…

《 祈っています 》

そよ風のようにやわらかく

日だまりのように温かく

木もれ陽のようにキラキラと

あなたがあなたを楽しんでいる

素敵ですよ

とっても美しく優しい情景

ヒトはみな 誰もが

見るに美しく

聞くに優しく

触れ合うことに満ち足りる

ヒトはヒトを愛している

誰もが誰かの幸せを平安を

祈っている

そうです

ヒトはいつもいつも

祈っているのです

お幸せにご機嫌ようーと

この地球のどこかで

誰かが誰かを祈っている

おすこやかにご機嫌ようーと

聞こえますか？

誰かがあなたを祈っていますよ

お幸せに おすこやかに ご機嫌よろしくーと

《 ぽろぽろすとりー 》

時が満ちて

柔らかな風がそよぎ

大いなる神の声が魂たちに届く

至福とともに清らかな思いに

心満たされた者たちが

その生を歓喜の歌声にのせ

神に届ける

愛が溢れ静かなる時が

人類の愛と平和と自由を現すとき

人々は人間の真価に目覚め

ただ純粹に互いを讃え合い

神の世がここに現れる

地球に愛と創造の花園が自由自在に現れて

永遠の静寂と至福を

人類は進化のうちに現し続ける

無限の意識をその生に現し
生命は神を現し続ける

宇宙は神と人との遊び場となり
創造は優美な愛のダンスとなって
人は永遠を楽しむ

ラブストーリー…

それは

人々が自らの内側に神を見出し
そのものであったことを思い出す物語

自らが

どれほど聖なるものかを思い出す
その瞬間への旅路

《プレゼント》

プレゼントしましょう

ささやかで小さな出来るコトを

誰にでもプレゼントしましょう

毎日毎日プレゼントしましょう

ただ何気なくそっとプレゼントしましょう

さわやかな小さな出来るコトを

誰にでもプレゼントしましょう

毎日毎日プレゼントしましょう

ただ何気なくそっとプレゼントしましょう

笑顔とともにプレゼントしましょう

さわやかに 軽やかにプレゼントしましょう

毎日毎日 誰にでも

ささやかで小さな何かをプレゼントしましょう

笑顔とともに さわやかに 軽やかに

さあ みんなで プレゼントしましょう

《ほほえんで》

ほら 愛が あなたを 後押ししている
ほら 愛が あなたを 抱きしめている

愛してるよー 大丈夫

元気出して 湧気出して

ずーとずーと 愛しているよ

君は素敵だー

ほら 愛があなたに ささやいている

いつも いつも どこでも

どんな時でも

君を永遠に 愛し続けているーと

くつろいで 目を閉じてーらん

ほら 愛のささやきが 聞こえてくるでしょう

ほら 愛の抱擁が わかるでしょう

静かに ただくつろいで

愛を愛してーらん

ほらー ね 愛があなたから溢れてる

だから 笑って

ただ

愛にほほえんでー

《ダンス》

神はいつも 手招きをする

Shall we dance?

Shall we dance? ヲー

神のささやきは 清らかに甘く

神の誘いは 優美に響く

私は神とダンスを踊る

神は 優美にリードして柔らかく甘くダンスは続く

神の抱擁は至福に私を包み 静かに荘厳に

永遠を感受させる

神の片面(ヨコガオ)は優美に私を誘い

神の眼差しは真直ぐに私のハートを射る

神の愛は私の愛と溶け合って

いつしか 神とのダンスはダンス それだけになって

そこには 静かに 至福と永遠だけが漂う

神はいつも 手招きをするー 清らかに甘く優美に

Shall we dance?

Shall we dance? ヽー

神とのダンス

それは

至福と永遠の甘露

《祝福》

神はあなたを祝福する

神は常に祝福で始まり

祝福し続け祝福に結ぶ

祈りは神の祝福の感受

献身は神の祝福の現れ

祝福こそ愛　愛すなわち神なのです

平和とは　この地上に神の祝福

つまり　愛が満ち溢れること

この世のすべては神の現われであり

溢れる愛であることを

あなたの祝福が証しする

自分とは愛であり神の証しであり
神のものであると

あなたは 神の祝福で知るのです

あなたの生は祝福に溢れている

《心おだやかに》

いつも心おだやかに暮らしましょう

波立つことが多くても

ただ笑ってほえんで

いつも心おだやかに暮らしましょう
小さなさやかなことしかできなくても
ただ満足して喜んで

いつも心おだやかに暮らしましょう
できないことが多くても
ただ信じて湧気を忘れず

いつも心おだやかに暮らしましょう
分かり合えないと感じても
ただ静かに希望を捨てずに

大きくも小さくもない等身大の自分
ただそれだけをみつめて
いつも心おだやかに暮らしましょう

大空を見上げて心を開いて
あるがままの自分を

心おだやかに生きていきましょう

《ヒトは》

ヒトは 気高く 美しい

その魂は 優しく 愛に溢れている

ヒトは 汚れなく 純粹

その魂はクリスタルダイヤモンドの光りで輝いている

ヒトは 愛を感受し

愛を満たし溢れさせて

深く広く大きな愛を現している

ヒトは すべての生命たちに

祝福をプレゼントして

愛の花をいっぱいになっている

ヒトは 自らの光りでこの世を照らす

すべてはクリスタルの輝きと

透明さではつきりと澄みきっている

ヒトは 自由自在に

自らを成就させる

すべての深い安らぎに満ち

平安と至福に満たされている

ヒトは 何ものにも従属せず

何ものにも拘束されない
ただヒトツの聖なる存在
自らが溢れる 愛の賜物

《ただ祝福を》

祝福を

祝福を

祝福を

ただ 祝福を

全身全霊で 祝福を

何にでも

どんな時にも

ただ 祝福を

祝福を

祝福を

祝福を

ただ 祝福を

あなたから

愛が現れる

あなたから

神が現れる

祝福を

祝福を

祝福を

あなたは 神だから

あなたは

祝福 そのものだから

祝福を

祝福を

祝福を

愛のなかで
愛を込めて
ただ 祝福を…

《 鮮やかなるは 》

地に 鮮やかなるは
人の現れ
光 現れて 神世 成りゆく
世に 鮮やかなるは
人の現れ
愛 現れて 神 成りゆく

宇に 鮮やかなるは

人の現れ

真 現れて 理 成りゆく

真に 鮮やかなるは

人の現れ

全き 現れて 一 成りゆく

まさに 人 永久(トコシエ)に 麗しき

《 祈る 》

鮮やかなりし 神の御光

指し示しゆくは ユクミチの祝福

明けゆくは 人の愛
満ちゆくは 人の光

さやけき萌香の漂いありて
我が道の全なるを知る
この祝福をみたしゆかん
この地にあらん
全てを現しゆかんと祈る

《 愛おしく 》

神の御胸に抱かれし人のいと氣高き愛の現れ
これをただ見続けることのみ
愛おしき

あなたのすべてに拡大する愛が
何ものとも比べられないことが
はつきりとして嬉しい

あなたの内に神の愛の満ち溢れる
その瞬間を見ることが
愛おしい

あなたが愛を現す
それこそが神であることを知って
嬉しい

あなたがただ神そのものであると
はつきりして
愛おしい

《 知っていますか 》

知っていますか？

神々はあなたを通じて語り

あなたの個性の中で

表されているのですよ

あなたが

どんな言葉で話しても

あなたが

どのような個性であつても

それはすべて

神の現れとなるのです

知っていますか？

宇宙の生命たちの思いは

あなたの

思考の中に現れるのですよ

宇宙の知性は

あなたの個としての

心に表れるのですよ

あなたが

どんな考えをめぐらしても

あなたが

どのような心であつても

それはすべて

この宇宙に具体化していくのです

永遠無限の存在は

いつもいつも 沈黙しています
けれどもそれは あなたの
想念と言葉と行為の中に
いつも 表現を見出すのです

形なきものが 形を取って現れて
音なき 沈黙の静寂が振動して音を発し
表現できないものが
あなたという ヒトツの人格に
表現されるのです

そして
あなたの宇宙生命が
あなたの息となり
永遠の生命の振動と
ひとつになったとき
あなたの生命が

成就するのですよ

《誕生》

あなたに誕生の時が訪れる
その瞬間を神々は待ち望む

大天使たちは

あなたの誕生の時を告げる
時の鐘を鳴り響かせ

この宇宙に轟かせ

天使たちは

ファンファーレを鳴らし

歓喜の歌を歌う

あなたの誕生の産声を

神々は歓声とともに迎える

神々は我先にと

あなたを抱き祝福の花束を添え

あなたに愛を告げる

神々は祝宴を開き

あなたの誕生を祝う

あなたの光は神々を歓ばせ

その耀きは愛に満ち溢れている

あなたに神が生を授け

永遠の時と無限の愛を楽しむようにと

祝祭を開きあなたを見送る

そしてあなたはヒトとしてここに生まれた

きつとあなたは思い出す
あなたの人生が神からの贈り物だと
あなたはいつか想い出す
あの誕生の瞬間を――

《夢をみました》

夢？ をみました――

薄雲の上にたち水の衣をまといて

黄金の冠を頂き鳳凰の羽を抱く

美しい皇子が天人に迎えられ

誕生する

「皇子の微笑みにこそ新たな契約
新天地の創造」と声が響きわたる

皇子の眼差しはなんとも優美に甘く

永遠をみつめている

その艶やかな面差しは平安を至福を現し

姿は無限の輝きに包まれている

わたしはただうっとりと

目撃してしまいしたー

《愛の祈り》

私の全ての愛が 私の全ての光に透け込み

私の全てのヒビキが

私の全ての光を透け込ませ

私の全き存在を生き

全宇宙の全き存在とヒビキ合い

全宇宙の全き生命（イノチ）を溢れさせます

私の全ての愛と光とヒビキは

全宇宙の全ての愛と光とヒビキに透け込み

溢れゆきて

全宇宙の全ての愛と光とヒビキに溶け込ませ

溢れさせます

全宇宙のすべてが

愛を純粹なる透明なる大調和によって

トコシエ（永久）に

トコトワ（永遠）を

クオン（久遠）に

生き続け 生きゆきます

《愛の詩》

人生を楽しみなさい
ただ楽しむだけです
それだけで幸福です

何が起ころうとも
何があろうとも

どんな状況にあらうとも

ほほえみを絶やさず

幸福でありなさい

美しい言の波に乗せて

あなたの内なる愛を届けなさい

この地上のどこへでも

あなたの幸福を届けなさい

常に健やかで幸福に満ち溢れていれば

愛はあなたに訪れて

この地上は至福に包まれるのです

ただあなたの心からあの愛がすべて

溢れ出るままにしておきなさい

決してあの愛の流れをとどめることがないようにと
いつもいつも祈り続けていればよいだけです

ご機嫌よく いつもいつも

サマンバヤ

リーラック ルン タータ

《愛の言霊》

我 一息ごとに

神の祝福を現さむ

歩みの一足ごとに

神の祝福を現さむ

この生命に祝福を見出さむ

内に愛あらば

この世に祝福あらむ

我 歓喜(ヨロコビ)とならむ

我 歓喜とならむ

《 平和の祈り 》

人の世の太平(タイラ)らけきこと
人の和の太平らけきこと

古(イニシエ)の契りとなりて

イヤサカを生み出す

常に太平ら成るを人の生命(イノチ)に見出しゆかば
天と地の宇となりゆきたるを見ゆ